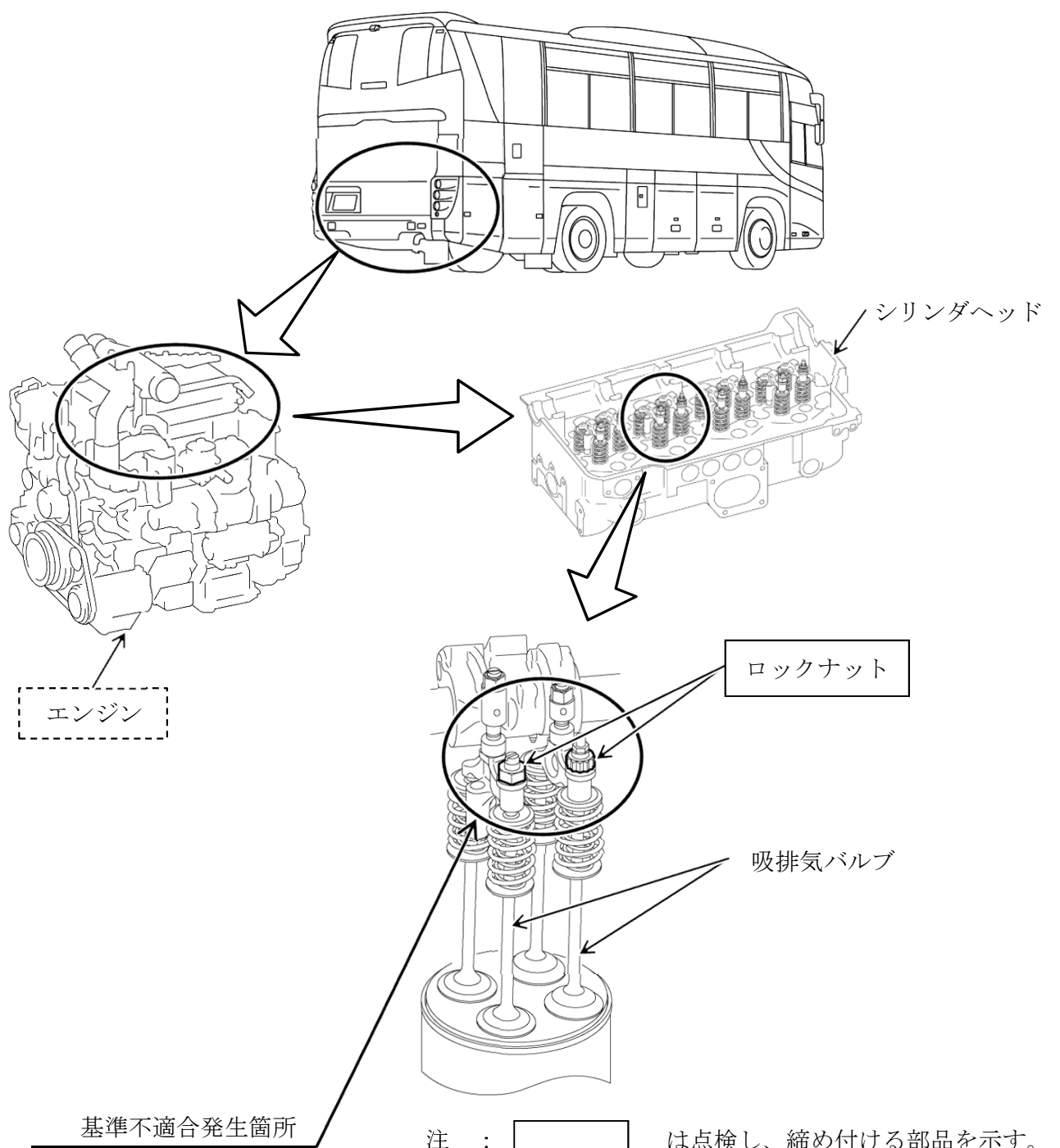


改善箇所説明図



- 注： は点検し、締め付ける部品を示す。
- 注： は必要に応じて交換する部品を示す。

大型バスのエンジンにおいて、吸排気バルブ隙間調整用ロックナットの締め付け工程が不適切なため、当該ロックナットの締め付けトルクが不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ロックナットが緩み脱落し、エンジンの内部に浸入することで、エンジンが損傷するおそれがある。

改善の内容：

全車両、吸排気バルブ隙間調整用ロックナットの締め付けトルクを点検し、再度、規定トルクで締め付ける。なお、当該ロックナットが脱落し、締め付け部の周辺に見当たらないものについては、エンジンを新品に交換する。

識別： シリンダヘッドカバーに黄色ペイントを塗布する。